

中小企業組合NAVI



2024

2

第806/381号
毎月1日発行

..... → やまなしの中小企業と組合の羅針盤 ←

昭和36年4月10日第三種郵便物認可
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

定価 100円



お詫び

当会における現金所在不明事案について

この度当会が行っていた収入印紙・収入証紙販売業務において所在不明金が発生いたしました。当会ではこの問題を真摯に受け止め、透明かつ責任を持って再発防止に努めてまいります。また、会員の皆さまへの支援業務は引き続き継続してまいりますので、今後ともご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

会員、関係者の皆さまにご迷惑とご心配をお掛けしておりますこと心からお詫びを申し上げます。

山梨県中小企業団体中央会

撮影：山岸 正宜

目次

2～3 【景況】… 各業界の景況情報

7 【活動紹介】… 組合がSDGs宣言! (協山梨県流通センター)

4～6 【特集】… 年男男女女の方々が今年の抱負を語る!

8 【施策】… 新規職員のご紹介 ほか

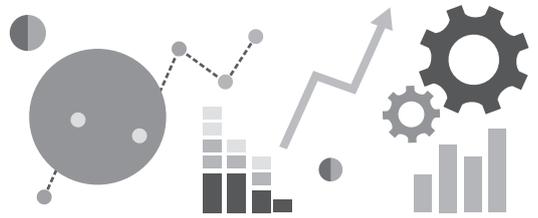
読みやすく判別しやすい「ユニバーサルデザインフォント」を採用しています

山梨県中小企業団体中央会

発行所

甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237) 3215 FAX 055(237) 3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp





12月報告のポイント

製造業ではすべての D.I 値が低下
非製造業では先行きの見通しに業種によって格差あり

概況

12月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で

売上高 ▲4ポイント (前年同月比 2ポイント↑)
収益状況 ▲6ポイント (前年同月比 10ポイント↑)
景況感 ▲16ポイント (前年同月比 6ポイント↓)となり、売上高・収益状況が前年同月を上回った。

業種別で、製造業では…

売上高 ▲20ポイント (前年同月比 15ポイント↓)
収益状況 ▲35ポイント (前年同月比 5ポイント↓)
景況感 ▲30ポイント (前年同月比 5ポイント↓)となり、

すべての項目において前年同月の数値を下回った。木材・木製品製造業では住宅着工数が減少しており、電気機械器具製造業では、「半導体関連の受注量がほぼゼロであり、少ない案件に対して価格競争が激化しているため、製造コストを下げなければ受注する事ができない」など、長引く受注量の減少によって売上げ・仕事量が低調に推移しており、景況感の見通しも良くない状況が窺えた。

非製造業では…

売上高 +7ポイント (前年同月比 14ポイント↑)
収益状況 +13ポイント (前年同月比 20ポイント↑)
景況感 ▲7ポイント (前年同月比 7ポイント↓)となり、

売上高・収益状況D.I値が前年同月を大きく上回った。コロナ5類移行後、初の年末により飲食店の客足が増加し、宿泊施設も好調に稼働した様子であり、「大きな天候の乱れがなければ、1月以降の宿泊施設・飲食店の客足はコロナ以前程度まで回復すると予測している(食肉小売業)」を例に、小売業や宿泊業では、先行きに対する見方も明るい事業者が多かった。

一方で、建設業では県内物件の減少によって仕事量の確保に課題を抱えており、ジュエリー卸売業では地金の高騰やロシア産ダイヤモンドが輸入禁止となったことで先行きを不安視しているなど、非製造業全体での景況感は▲7ポイントとなった。

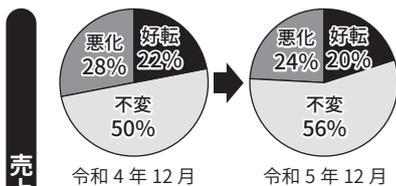
中央会では12月の調査に合わせて月次景況調査組合又は企業のインボイス制度への対応状況及び懸念事項について聞いたところ、39社(有効回答数)より回答を得た。

インボイス制度に「問題なく対応できている」との回答は23%となり、「概ね問題なく対応できている」との回答は64%、「わからない・対応していない」との回答は13%となり、対応状況については概ね順調であることが分かった。

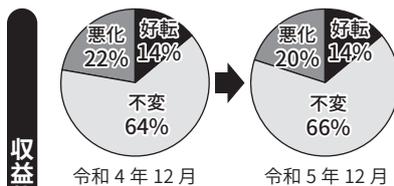
しかし、インボイス制度に対応する中で「懸念事項がある」と回答した事業者は53%であり、懸念事項の内容については、請求書が適格請求書の要件を満たしているかの確認や、不備があった場合の修正対応などの「事務負担の増加」が最も多く、次いで多かったのが、「仕入先・販売先への対応」である。免税事業者の取引先は仕入税額控除を受けることができず、令和11年までは仕入税額控除額に相当する一定割合を仕入税額として控除できる経過措置があるものの、それ以降は控除を受けられなくなるため、その分の値引を要求されることが予測される。「一人親方(個人事業主)は免税事業者が多く、インボイス制度が始まったことで、課税事業者にならなければ仕事を切られるといった話を耳にする(型枠大工工事業)」といったように、最悪の場合では取引を見直される恐れもある。

また、「制度が開始されてから間もないため、問題点があるのか無いのか分からない(警備業)」に代表されるように、多くの事業者が手探り状態であることから、「後々の不備発覚時の対応」を懸念する報告もあった。

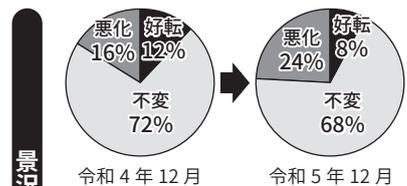
中央会では様々な制度改革に対応するための方法や経営改善を図るための専門家派遣などの支援策を用意し、中小企業者の課題解決につなげていく。



- D I 値 ▲4(前年同月比+2)
- 業種別 D I 値
製造業 ▲20(前年同月比▲15)
非製造業 +7(前年同月比+14)
- 前月比 D I 値
製造業 ▲15
非製造業▲16



- D I 値 ▲6(前年同月比+10)
- 業種別 D I 値
製造業 ▲35(前年同月比▲5)
非製造業 +13(前年同月比+20)
- 前月比 D I 値
製造業 ▲25
非製造業+20



- D I 値 ▲16(前年同月比▲6)
- 業種別 D I 値
製造業 ▲30(前年同月比▲5)
非製造業▲7(前年同月比▲7)
- 前月比 D I 値
製造業 ▲5
非製造業+3

業界からのその他のコメント

● 製造業

食料品(水産物加工業)	宿泊施設の客足の増加や新商品の発売によって、前年同月と比べて売上は100.4%となった。
食料品(洋菓子製造業)	店舗拡大効果とクリスマスシーズンによるケーキの需要増加によって、前年同月と比べて売上は116%となった。
繊維・同製品(織物)①	ネクタイ部門▶県庁や市役所で開催した販売会での売れ行きが好調であった。また、コロナ5類移行によって、産地周辺の観光地に多くの外国人観光客が訪れるようになってきたことから、お土産としてネクタイの売れ行きが好調である。 裏地部門▶注文は徐々に増加しているが、原糸の調達に困難な状況が続いている。 インテリア部門▶新規の注文が徐々に増加しているが、未だ厳しい状況が続いている。 傘地部門▶ふるさと納税の返礼品としての需要が増加しており、ネクタイと同様に年末の販売会での売れ行きが好調であった。OEMは既に受注した分を生産している状況であるが、新規の注文が少ない。
繊維・同製品(織物)②	織物の製造現場が全国的に減少しているため受注量は多くなったが、原材料価格などの製造に係るコストの増加によって収益状況が悪化しており、今後も販売先と粘り強く価格交渉の必要がある。 また、生活様式の変化によって商品の需要も変化している。織物業界に携わる人の高齢化も進み廃業する事業者が増加している。
木材・木製品製造	前年同月と比べ売上は▲10%となった。木材価格の変動や住宅着工数の減少によって、不安定な一年となった。2024年の経営環境はさらに厳しくなることを予測している。
家具製造	前年同月と比べ売上は▲10%、収益状況は▲20%となった。景況感が回復傾向にある業界もあるようだが、住宅市場は物価高騰や人手不足、長引く受注量の減少などの課題が山積みであり、先行きが不透明である。
紙製造業	売上げ・収益ともに緩やかに回復傾向にある。
印刷・同関連業	デジタル化の潮流により、紙媒体の需要が低下している。
窯業・土石(砂利)	前年同月と比べ売上は10%増加したが、物価高騰の影響によって収益状況は変わらない。繁忙期に入り工事は増加したが、地域によって差が大きい。
窯業・土石(山砕石)	電力や燃料(軽油)、諸資材の価格が高止まりしており、前年同月と比べ売上・収益ともに▲6%となった。
一般機器(業務用機械器具製造業)	前年同月と比べ売上は▲20%、収益状況は▲22%となった。受注量の減少が続いており、価格転嫁も困難であることから、経営環境は厳しく先行きも不透明である。
電気機器①(電気機械部品加工業)	前年同月と比べ売上は15%増加したが、収益状況は改善していない。人手不足と時間外労働の上限規制による時間的な縛りが課題である。
電気機器②(電気機械部品加工業)	前年同月と比べ売上・収益ともに▲30%となった。半導体関連の受注量はほぼゼロであり、2024年の後半まで解消の見込みがないとの情報もある。 少ない案件に対して価格競争が激化しているため、製造コストを下げなければ受注する事ができない状況である。
宝飾(貴金属)	地金の価格が高止まりしていることから、前年同月と比べ商品の販売価格を20%ほど値上げした。

● 非製造業

卸売(ジュエリー)	前年同月と比べ売上は20%増加したが、原材料などの高騰により収益状況は悪化している。 市場に流通しているダイヤモンドの1/3はロシア産であるが、ウクライナ情勢の影響によって、1月1日から輸入禁止となった。今後の市場の動きを注視していく。
小売(青果)	前年同月と比べ売上は▲3%、収益状況は2%好転した。お歳暮関連商品の売れ行きが芳しくないことから、物価高騰による消費活動の低迷を感じている。
小売(食肉)	年末年始の注文量は多く、1月も積雪などの大きな天候の乱れがなければ、宿泊施設・飲食店の客足はコロナ以前程度まで回復すると予測している。
小売(電気機械器具小売業)	省エネ機器の売上は前年同月と比べ5%増加と、予想を下回る結果となった。物価高騰による消費活動の低迷を感じている。
小売(事務機小売業)	メーカーからの仕入れ価格の上昇を受けて、商品の販売価格も値上げした。
小売(ガソリン)	12月に入り、原油価格は70ドル/バレル台で推移しており、円高の進行によって、原油調達コストが下がっている。燃料油価格激変緩和措置のガソリンに対する補助金額について、11月はリットル当たり20円台であったが、12月は10円台前半まで減少した。4月末には補助金が終了する予定であることから、政府の出口戦略を注視している。
商店街	組合が管理する駐車場の売上げは増加しているが、コロナ禍以前の状況には及ばない。商店街の客足も徐々に回復しているが、個々の店舗の売上げは厳しい状況が続いている。組合主催でイベントを開催するなどして集客力の向上を図っているが、先行きは不透明な状況である。
宿泊業	全国旅行支援の効果があった前年と比べると、宿泊施設の稼働状況は落ち着いているものの、人の動きはコロナ以前と同程度まで戻りつつあると感じている。宴会件数の増加によって、収益状況も回復傾向である。
産業廃棄物処理	年末に向けて、廃棄物の処理量が増加している。
一般廃棄物処理	燃料価格や人件費の上昇分の転嫁について交渉が難航している。
警備業	年末に入り土木工事や商業施設での警備が増加した。天候にも恵まれたことで中止となる現場も少なく、警備料金の単価上昇の影響もあり、前年同月と比べ売上は6%増加した。 警備員には高齢者が多く、体調不良者が続出しているため、既存の現場に人員を供給することができない状況である。組合員は、賃上げ等して人材の確保に力を入れているが、アルバイトや短期労働者の応募ばかりで正規職員の応募はほぼ無い。
建設業(総合)	12月の県内公共工事は、前年同月に比べ件数は28%増加、請負金額は97%増加と大幅に増えた。しかし、12月末累計の件数は2%増加、請負金額は5%の増加に留まっている。
建設業(型枠)	一人親方(個人事業主)は免税事業者が多く、インボイス制度が始まったことで、「課税事業者にならなければ仕事を切られる」といった話を耳にする。 また、資材価格や人件費の上昇分の転嫁が進まない状況に加え、週休二日制の導入により、売上げ・収益状況は悪化する一方の中で、人手不足や経営者の高齢化も進んでおり、廃業・倒産する事業者が今後増加すると予測している。
建設業(鉄構)	鋼材価格が高止まりしている。県内では地域によっては民間の物件(倉庫型物品販売、菓子製造・販売業による複合施設、店舗・工場の新築など)があるものの、全体的には閑散としている。
設備工事(電気工事)	電気工事における新規の物件数の減少に加えて、電気設備資材品の価格も高騰しており、業界の景況感は芳しくない。長引く景気低迷や経営者の高齢化などによる組合離れを懸念している。
設備工事(管設備)	前年同月と比べ売上は▲4%となったが、収益状況は24%好転した。令和6年4月から、水道行政が厚生労働省から国土交通省及び環境省に移管されることによって、上下水道の管轄が一体となる。各関係機関との情報の共有や連携強化を図り、変化に柔軟に対応していきたい。
運輸(バス)	人手不足が課題であり、バスの台数分も仕事が受注できない状況である。
運輸(トラック)	年末の荷量は想定を下回った。 燃料価格の高止まり、人手不足など課題は山積みであるが解決の糸口は見えず、2024年問題への対応にも迫られる中で、経営環境は悪化するばかりである。 今後さらに、事業の継続を断念する事業者が増えると予測している。



そうりきょうせい 相利共生

金丸 正幸 さん

山梨県中小企業団体中央会 常任理事
山梨県電気工事工業組合 理事長
株式会社カナマル 代表取締役



仕事の内容・昨年を振り返って

私たちの生活になくてはならないエネルギーのひとつに「電気」があります。その電気を生活の場にお届けするため、敷設工事を行うのが我々電気工事業者の使命です。

当業界では、経済規模や包含発注（他の建設工事を含めて一括での発注）による下請受注などから仕事の取り合いも多く、適正価格の維持が難しい状況にあります。適正価格が崩れれば適切な施工や人材確保ができなくなり、ひいては当たり前にある電気を供給できないという事態も起こり得ます。

そうした状況にならないよう、当業界では国や行政などの発注者側と協力しながら、適正価格での受注が見込める分離分割発注（電気工事などの専門工事ごとの発注）を推進するなど、電気を通じて皆さまの「当たりの生活」を守っていきたくと考えています。

今年の抱負

現在、建設業界では生産性向上にむけたDX化が進んでいます。データ化した書類のやりとりや現場での図面データの確認など、情報のスピード化は生産性を向上させ、それが競争力の強化となり業界の発展に繋がります。そのため、DX化による生産性向上に向けた取り組みをさらに推進していきたいと思えます。

また、人材確保・育成にも力を入れていきます。当業界では、高校生などへの業界理解促進事業や資格取得のための認定職業訓練校を引き続き行うとともに、女性従事者の確保にも努めていきます。女性がいることで現場が自然ときれいになる、雰囲気明るくなる、DX化が進むという声をよく耳にします。そうしたことから、女性も働きやすい職場環境の改善に力を入れていきたいです。

我々はライフラインである電気を通じて、今後も国や行政、住民、そして我々電気工事業者が協力し、共に発展していくことができる社会の実現を目指していきます。



今の食事が未来の自分をつくる

長谷川正一郎 さん

山梨県中小企業団体中央会 理事
山梨県漬物協同組合 理事長
長谷川醸造株式会社 代表取締役



仕事の内容・昨年を振り返って

当組合は、主に甲州小梅を行う事業者で組織され、特産品である甲州小梅の栽培産地振興と更なる市場開拓を目的に小梅のPRに取り組んでいます。山梨県の小梅の生産量は日本一を誇っていますが、近年では、宅地化・道路化・農家の高齢化等により最盛期の1/4程度まで減少し、材料調達に苦慮しております。農家と協力し苗木から梅を育てて生産量を増やせるよう取り組みを行いました。苗木が成長し収穫できるまでは3~5年を要します。小梅の安定した材料調達のための種まきの年となりました。

今年の抱負

梅干しは古くから健康に資する食品として親しまれてきました。梅に含まれるクエン酸は、虫歯予防や殺菌効果が期待でき、この高い殺菌効果は食中毒の予防にも有効とされています。そのほか梅酢ポリフェノールには、ウイルスの増殖・感染を抑える効果があるとされ、風邪やインフルエンザの症状をやわらげるといわれ、新型コロナウイルスの増殖を抑える効果があるとの研究発表もあり、まだ私達の知り得ないパワーや可能性を秘めているかもしれません。

このように食事によって改善・緩和が見込めるものがあります。今ある私達の体は過去の食事で形成され、日常的に摂取するものが5年後、10年後の自分に返ってくるのだと思います。健康な体・生活は良質な食事によって得ることができ、梅もそのうちの一つです。今後は新しい取り組みとして、梅をそのまま食べるだけでなく、梅を使ったレシピの開発・パッケージ商品として販売することで、親しみやすく美味しいと思ってもらえる甲州小梅の魅力発信とPRを展開していきます。



「もの」が巡り、「ひと」が活きる

石澤啓一郎 さん

山梨県中小企業団体中央会 理事
山梨県トラックターミナル協同組合 理事長
山梨貨物自動車株式会社 代表取締役



仕事の内容・昨年を振り返って

当組合は道路貨物運送業を中心として17社で構成されており、昭和50年の創立から今年で49年目となります。行っている共同事業は、共同給油所・洗車場・駐車場の運営事業、車両共同整備事業、教育情報事業で、特に教育情報事業では運転者の適性診断等を行い、運転技能のほか交通安全の意識向上を図っています。

これらの事業は組合員の経営の安定とサービス向上に貢献していますが、特に共同給油所では燃料費の低減に力を入れ、軽油価格が直近7年間で約40円も上昇している中で、組合員の輸送コストの削減を実現しています。また、トラックの排ガス対策のために必要不可欠なアドブルー（尿素水）やエンジンオイルなどを1円でも安く提供するために共同で購入しています。さらに、昨年は環境保護に配慮し、荷物を包装するラップ系のごみの共同分別・収集を始めたことで、SDGsへの取り組みにつなげていきたいと考えています。

今年の抱負

「物流」は経済を円滑に回していくためのインフラであり、電気や水道、ガスと同じく、私たちの生活になくてはならないものですが、業界全体で人手不足が深刻な課題であり、このままでは、欲しいモノが欲しい日に届かなくなるといった物流危機が発生することを懸念しています。

昨今は、「2024年問題」への対応も含めて業界全体で職場環境の改善に力を入れており、女性ドライバーも増えていることから、短時間・長時間など個人のライフスタイルに合わせた働き方を積極的に受け入れています。組合では、物流に携わるすべての人の負担軽減のため、荷主への交渉を粘り強く続けるとともに、将来的には、共同点呼の実現や、デジタル技術を活用して組合員相互での空車状況の確認や配車を円滑に行うことができるよう取り組みを進め、業界を志す若い世代を増やすためにも、業界のイメージアップに向けて一歩ずつ前進していきたいと考えています。



一致団結

高村 隆仁 さん

山梨県中小企業団体青年中央会 理事
山梨県製麺協同組合 青年部長
山中屋製造麺勤務



仕事の内容・昨年を振り返って

当社は山中湖で、主にうどん、甲州ほうとう、中華麺やそば等を製造、販売しています。一般向けの小売や業務用のほか、オリジナル麺の受注も行っています。

昨年はコロナウイルスが少し落ち着き、コロナウイルスの影響があった3年間を取り戻す思いで一生懸命に働いた1年間でした。

近年の市場の変化としては、コロナウイルス以降、テイクアウトの需要が増加し、家で美味しい麺を食べたいというお客様ニーズの高まりから、小売麺の売上が毎年伸びています。この市場の変化に伴って新しい取り組みを考えて販路をさらに拡大したいと考えていましたが、麺の製造に欠かせない小麦粉や包装材料の高騰に始まり、商売をする上で必要な様々なものの値段が上がったことでコストダウンに力を入れなければならない、望んでいた新たな取り組みができずに悔しい年となりました。

今年の抱負

山梨県製麺協同組合に所属して今年で25年目となりますが、組合青年部をまとめる立場として、今年は組合青年部で販路開拓や売上アップのための勉強会や講習会を実施していきたいと考えています。また、組合員間での情報交換の機会を増やし、組合員一丸となって連携を深めながら、組合員全員が良い年となるような1年にしていきたいと思っています。

個人的な目標としては、新たな取り組みとしてそばに力を入れていきたいと思っています。山梨といえばほうとうのイメージが強く、そばのイメージは定着していません。今年はそばで有名な長野県にも負けないように、美味しいそばを提供していきたいと考えています。山中湖周辺は外国人旅行客が多いですが、リピーターとなってくれる機会が多い日本人をターゲットに、積極的にPRをしていきたいと考えています。



組合事業の発展と、新しいことに『トライ』

内藤 寛史 さん

協同組合山梨県流通センター 課長



仕事の内容・昨年を振り返って

当組合は卸売業を中心として81社で構成されており、従業員約1,600が働く、面積24万㎡の集団化した業務団地です。

主な共同事業として、施設運用事業、福利厚生事業、環境整備事業、教育情報事業、共同警備事業、共同駐車場事業、塵処理事業、ビジョン推進事業等を行っています。

昨年は新たな取り組みとして、電子マニフェストを活用し企業から出るゴミを「資源」として分別回収を始めたことで、環境に配慮しながら廃棄物を処理することができるようになりました。組合員企業のSDGsへの意識の高まりを感じるとともに、流通センターの活動について日頃から組合員の皆様にご理解・ご協力をいただいているからこそ取り組みを進めることができたと感じています。

また、コロナ5類移行により、中止・延期となっていた様々な組合行事も開催されたことで、かつての賑わいが戻り事務局として忙しくも喜ばしい1年となりました。

今年の抱負

今年は組合創立52年となり、団地造成より半世紀以上が経過しました。

その中、当組合は団地内建物の老朽化が課題となっています。当組合は、令和元年度から『団地再整備特別委員会』を立ち上げ、組合会館の移転・建替え等について検討をしています。

委員会では新組合会館への機能としてBCP対策となる防災機能も取り入れ、災害時には組合員及び地域住民の一時避難所となる建物を継続的に検討していきます。

計画案は、組合員からの意見のほか、山梨県中小企業団地中央会等や外部専門家からも指導をいただいております。様々な知見を頂戴する中、将来の重要なテーマでありますので、事務局の担当として確りと担いながら取り組みたいと思います。

最後に、本年も組合員の皆様との繋がりを大事にして、既存事業の見直しを行い、何ができるかを考え、事業の改善や新しいことにトライしたいと考えています。



挑戦の一年に

佐野 光世 さん

甲府信用金庫 塩山支店



感謝を忘れず日々成長

末木 杏奈 さん

甲府信用金庫 朝気支店

仕事の内容・昨年を振り返って

佐野: 現在は、現金の管理を行う出納業務をメインで行っていますが、窓口業務にも携わっています。窓口には、時間を問わずお客様が来店するため、急な対応が求められる戸惑うことがありますが、上司や先輩方の優しく丁寧な指導のもと大きく成長できた1年でした。業務の中で最も嬉しかったことは、お客様に電話で定期預金のご案内をしたところ、翌日には窓口にお越しになり手続きいただけたことです。お帰りの際は「丁寧な説明で分かりやすかった」と声をいただくことができ、お客様一人ひとりに丁寧に接することが大切だと改めて実感しました。

末木: 学生時代から、生まれ育った地域に貢献することができる仕事に就きたいと考えていたため、甲府信用金庫に入庫しました。当金庫はお客様に“こうしん”と親しまれ、営業範囲を主に国中地域に限定していることから、お客様により身近な金融機関であることを実感しています。仕事では出納業務を行っていますが、窓口に出てお客様と接する機会も多く、お客様のお金を預かるという大きな責任を感じながらも、「ありがとう」の声を直接いただけることがやりがいであり、お金という暮らしに不可欠なモノを通して、地域を元気にし、地域経済の活性化や発展に貢献していける職場で働くことができる喜びを感じています。

今年の抱負

佐野: 今年は、銀行業務検定、証券外務員、FP、簿記など、様々な資格取得にチャレンジしたいと考えています。また、窓口や電話での応対の際に先輩を頼ってしまう場面がまだ多いので、お客様の相談や質問に一人で素早く・正確に・丁寧に答えることができるように、知識と経験を増やしていきたいと考えています。今年は後輩も入庫してくるため、早く仕事に慣れ支店に欠かせない人材になることができるよう、何事にも積極的に取り組み成長の一年にしたいと考えています。

末木: 私の働いている朝気支店は大型店舗で、連日多くのお客様が来店します。入庫した当初は何も分からないところからのスタートでしたが、上司や先輩だけでなく地域の皆さまに支えられながら成長することができました。この1年間の感謝を忘れず、一日にひとつ新しい業務を覚えることを目標に、疑問に感じたことはすぐに上司や先輩に確認するなどして、業務の幅を広げ地域に恩返しできる職員になりたいと感じています。

SDGsセミナーを開催

協同組合山梨県流通センター（理事長：中込 裕／組合員62社）は、2023年12月4日（月）にSDGsセミナーを開催した。

組合では、組合員が安心・安全にビジネスができる環境の提供をコンセプトに事業を展開している。この度、組合員の企業価値の向上を目指しSDGsへの取り組み推進につながるため、組合が行う取り組みを「SDGs宣言」として小冊子にまとめた。

今回のセミナーは、宣言の周知と併せて、組合員がSDGsに関心を持ち、前向きに取り組みを進めることができるよう開催した。近年は、社会的・環境的に問題を起こした企業への風当たりが強く、製品の不買運動やマスコミの追及などによって、企業の信用は一瞬にして失墜してしまう。その中で、大手企業や自治体はリスク回避のために、取引先に対しても、商品の価格や機能・サービスの質に加えて、“地域貢献や環境保護の活動、コンプライアンスを重視した企業活動”を求めている。講師のリコージャパン(株)米谷 正児氏からは、「今の若い世代は就職の際にSDGsの視点を持って企業を選ぶ人が多くなっている。SDGsと聞くとボランティア活動のようなものだと感じる人が多いが、新規の取引先の開拓や人材確保など中小企業が抱える様々な課題の解決のための一つの手段として積極的に取り組んで欲しい。」と語った。

中込理事長は、「SDGs宣言のテーマである“新たな一体性の維持”を胸に刻み、組合員や地域と連携しながら、未来に向けて前進していきたい」と話した。



協同組合 山梨県流通センター

協同組合山梨県流通センター SDGs宣言

当組合は、「新たな一体性の維持」を重要課題テーマとして、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献し、持続可能な社会の実現に努めます。

2023年9月

協同組合山梨県流通センター 理事長 中込 裕

SDGsの達成に向けた取組み

<p>相互扶助</p> <p>相互扶助の精神に則り、組合員構成員が互いに助け合い、互いに高め合って事業発展していくことを目指しています。</p> <p>＜主な取組内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組合員相互の連携及び福利厚生充実に向けた取組み ・BCP計画策定、総合防災訓練、AEDの実技訓練、防災対策用品の備蓄 ・災害に備えてガソリン2万ℓ、軽油1万ℓの備蓄 	<p>「安心」「安全」に働ける職場環境の形成</p> <p>組合員の従業員が安心・安全に働ける職場環境を構築し、持続可能な企業を目指しています。</p> <p>＜主な取組内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組合員向けの定期健康診断、ワークロード予防措置の実施 ・組合員向け就業機会の実施 ・各関係会社との連携による集団労務管理の構築
<p>公正な事業環境・組織体制の構築</p> <p>組合員・準組合員から信頼されるため、社会課題の解決に資する取組みを促進し、強靱な組織構築を目指しています。</p> <p>＜主な取組内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県流通センターの5年後、10年後のビジョンについて検討する「団地再整備特別委員会」の設置 ・団地内エリアを東西南北に区分し、ブロック部会、ブロック協議会を開催 	<p>環境に配慮した事業活動</p> <p>事業活動を行う上で、環境負荷軽減のための取組み・環境問題への意識醸成を図っています。</p> <p>＜主な取組内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備事業においてリサイクル、分別回収を実施し、電子マネー決済を活用 ・当組合が管理する団地内の街路灯をLED照明に切替 ・リサイクル、一斉清掃の実施、事業系ごみ収集や廃棄物管理取組の実施
<p>組合員向け制度の構築および提供</p> <p>当組合が主体となり、組合員向けに各種研修会の実施・制度の構築を行っています。</p> <p>＜主な取組内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業年金制度の構築及び提供 ・組合員向け社員向け研修会等の実施 ・社会保険労務士による各種研修会の実施 	<p>社会貢献・地域貢献</p> <p>社会・地域貢献活動を通して、地域社会の一員としての責任を果たしています。</p> <p>＜主な取組内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター・パワールの開催、団地周辺の一斉清掃 ・中央市と「洪水期における避難施設としての利用に関する協定」の締結 ・ワンフォーレ甲府の特別会員として協賛

シルバー人材センターを 活用してみませんか？

簡単な仕事だけど、忙しい時だけ働いてくれる人はいないかな...

1カ月だけ社員と一緒に働いてくれる人はいないかな...

従業員にはできない人がいないけれど、だれかできないかな...

朝夕2時間だけ手伝ってくれる人はいないかな...

休日に代わりに仕事をしてくれる人はいないかな...

そんな時は・・・お任せください!!

シルバー人材センターでは、多彩な経験や技能を持った会員がこんな仕事をしています。

- 運転業務(自家用車) ● 飲食店の調理補助 ● 販売の手伝い ● 製造の補助
- イベントの手伝い ● 事務補助 ● 受付管理 ● 介護施設での補助業務
- 施設での清掃 ● クリーンセンター仕分作業 ● 農業補助 など

高齢者活躍人材確保育成事業

まずは、お気軽に地域のシルバー人材センターにお電話してください。

公益社団法人
山梨県シルバー人材センター連合会

甲府市飯田3-3-28 スカイハイツ1F
TEL 055-228-8383 FAX 055-228-8389

URL <http://www.y-sjc.jp/> E-MAIL y-rengo@sjc.ne.jp

センター名	担当地域	住所/電話/ファックス
甲府市シルバー人材センター	甲府市	甲府市相生2-17-1 TEL 055-222-9488 FAX 055-222-9490
	●大月事務所	大月市 大月市大月町花咲10 TEL 0554-22-2900 FAX 0554-22-2900
	●都留事務所	都留市 都留市田野倉1330 TEL 0554-45-3500 FAX 0554-45-3500
東部広域 シルバー人材センター	●上野原事務所	上野原市 上野原市上野原3757 TEL 0554-62-4700 FAX 0554-62-4700
	●塩山事務所	甲州市 甲州市塩山上於曾1833 TEL 0553-32-4110 FAX 0553-32-4109
東山梨地区広域 シルバー人材センター	●山梨事務所	山梨市 山梨市小原955 TEL 0553-22-4150 FAX 0553-22-4006
	富士五湖広域シルバー人材センター	富士吉田市・西桂町・山中湖村・忍野村・鳴沢村・富士河口湖町
峡北広域シルバー人材センター	●諏訪事務所	富士川町 南巨摩郡富士川町諏訪655-8 TEL 0556-22-8701 FAX 0556-22-8702
	●身延事務所	早川町 南巨摩郡身延町早川2483-36 TEL 0556-62-1165 FAX 0556-62-1572
峡中広域シルバー人材センター	甲斐市 甲斐市藤原2644-3 TEL 055-279-6626 FAX 055-279-6620	
南アルプス市シルバー人材センター	南アルプス市	南アルプス市飯野2806-1 TEL 055-282-6633 FAX 055-282-6634
笛吹市シルバー人材センター	笛吹市	笛吹市御坂町栗合366-1 TEL 055-225-6703/6704 FAX 055-262-8702

※丹波山村、小菅村、道志村はシルバー人材センターが未設置です。

新職員 採用

総務課 主事

この
河野

まゆ
茉由 (令和6年1月4日付)



情報BOX

中央会からのご案内

令和6年 能登半島地震

にかかる義援金の募集について(お願い)

このたびの地震により亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りしますとともに、被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

中央会では、被災地石川県の組合・企業の支援のために義援金を募集します。

※義援金につきましては、山梨県中央会 → 全国中央会 → 石川県中央会を通じて石川県の被災された企業・組合の支援に届けられます。

1 義援金の寄付額 1口 10,000円(1口)以上

※事前に「義援金申込書」を中央会にFAXのこと

2 振込先 山梨中央銀行

本店(普通預金) 1291686

山梨県中小企業団体中央会

3 お振込み期日 令和6年2月26日(月)まで

詳細につきましては、お送りしましたご案内文書または中央会ホームページでご確認ください。

お問い合わせ 中央会総務課 055-237-3215

皆様のベストパートナーを
めざして

20th

おかげさまで20周年

YKS 山梨県民信用組合

山梨県甲府市相生1丁目2番34号
TEL 055-228-5151

Shinkumi Bank
信用組合
しんくみ
ちかみにいるから、
チカラになれる。

私たちは
献血推進キャンペーンを
応援しています。

献血サポーター

未来へ運んでいます。 ~人の想いも、美しい自然も~



令和5年度環境標語最優秀作品

トラックが大事に運ぶ宝物 きれいな地球 みんなの未来

甲州市 加賀爪 二郎

(一社) 山梨県トラック協会